

人も猫も 幸せなまち にゃばり に！

屋外の過酷な環境で暮らす野良猫を減らしたいと、市内で活動している2団体にお話を伺いました。

環境対策室 ☎ 63・7492



「にゃにゃ倶楽部」「すずねこの会」で保護している猫たち

令和4年度以降
県内の殺処分数は0匹

三重県は、令和4年度に犬・猫の殺処分ゼロを達成（治療の見込みのない病気の場合や引き取り後に死亡した場合などを除く）。令和5・6年度も、殺処分ゼロを維持しています。県では平成29年5月に、動物愛護管理の拠点として「あすまいる（三重県動物愛護推進センター）」を津市に開所。人と動物の共生を目指して、①殺処分ゼロ ②災害時などの危機管理対応 ③さまざまな主体との協創の3つの取組を重点的に進めています。

TNR活動で
一代限りの命を見守る

犬や猫の繁殖力は非常に高

く、特に猫は、母猫1匹が1年間で20匹近く出産することもある動物です。外で暮らす猫は、毎日水や餌を探し回り、暑さや寒さに耐え、事故や病気で命を落とすことも多い過酷な環境での生活を強いられます。そんな不幸な猫を増やさないために行われているのが、野良猫に避妊・去勢手術をして元の場所に戻す「TNR活動」です。市内でも、いくつかの団体や個人のボランティアが、TNR活動や保護猫活動に取り組んでいます。猫の捕獲や避妊・去勢手術、子猫や病気の猫など自然に戻すことが望ましくない猫の保護、世話、里親探しなど、猫のために奔走する「にゃにゃ倶楽部」と「すずねこの会」の代表に、お話を伺いました。

T Trap 捕まえる
N Neuter 避妊・去勢手術をする
R Return 元の場所に戻す

飼い主のいない猫を増やさないために行われているのがTNR活動。手術が済んだ目印に耳先をV字にカットした「さくら耳」の猫たちは「地域猫」として、寿命を全うするまで地域で見守っていきます。

私 たちが目指すのは、「保護しないといけない命をなくすこと」。そのために、無責任な繁殖を防ぐ「蛇口を締める」活動に力を入れています。猫の高い繁殖力を知らない人も多いので、不幸な命を増やさないためにも、野良猫に餌をあげるのであれば避妊・去勢手術もセットで行うように啓発しています。子どもたちの猫に対する優しい心を育むため、2年程前から「命の授業」も始めました。

よく「突然、庭に子猫が現れた」「野良猫に餌をあげていたら増えてしまった」などの相談を受けます。何とかしてほしい、という相談自体が悪いわけではありませんが、メンバーは仕事や子育ての合間で活動しているのです、まずは自身にできることは何かを考えていただけると嬉しいです。その上で声をかけてもらえれば、捕獲の手伝いや安く手術できる病院の紹介など、私たちもできる限りサポートしますよ。

Instagram



LINE



保護猫活動をなくすために、
「蛇口を締める」活動を

にゃにゃ倶楽部
代表 村口 早苗 さん



地域の支援のおかげで、
全ての「野良猫」が
「地域猫」になりました

地域猫見守り隊 すずねこの会
代表 黒杉 あい さん



Instagram



屋 外で生きる野良猫の過酷な環境や、母猫の妊娠・出産・子育ての現実、人知れず消える命がたくさん存在することを知り、「この状況を変えたい」と活動しています。最初は保護団体のお手伝いをしていましたが、広範囲で転々と実施するTNRではいたちごっこになると感じ、自分の住むすずらん台に焦点を絞って保護猫活動を始めました。

転 機は、自治会長さんとの出会い。「個人ですることではない。地域の問題だ！」と、自治会の地域環境対策として活動できる土台を作ってくださいました。保護猫活動には地域の理解が不可欠であるため、毎月「すずねこ新聞」を配布して、周知に取り組みました。今では、たくさんの方に活動を応援していただいています。

活 動の結果、すずらん台内の野良猫は全て手術が終わり、今は子猫がいまません。現在は、他地域からの流入や遺棄にその都度対応しています。以前多発していた猫の交通事故も激減しました。これまで「無責任だ」と言われても放っておけずに野良猫に餌をあげてきた人たちを「餌やりボランティアさん」と呼んで連携しながら、地域全体でTNR後の地域猫を見守っています。私たちの目標は、地域猫たちを迎えに行くこと。余生は温かい場所です。場所です。場所です。

地 域単位で動けば、数年で野良猫の数は減少します。各地域で取り組めば、いつか人と猫が共生できるようになるはずです。すずらん台の成功がモデルになり、命を尊び、大切に見守る温かい雰囲気市全体に広がることを願っています。

夢 は、名張をイスタンブールのような「猫を大切にすまち」にすること。イスタンブールでは街中に水や餌が置かれ、猫が人のそばで安心して過ごしています。屋外で生きる猫も地域の一員としてのびのびと暮らせる名張を目指したい！そんなまちなら、「保護」という言葉すらいらなくなると思うんです。そのためには、たくさんの方に活動を知ってもらうことが大切。第一歩として、ずっと目標だったイベント「にゃばり！にゃんこフェスタ」を11月に開催！活動のお手伝いは大歓迎ですが、保護猫のことを広めてもらうだけでもありがたいです。ぜひイベントに来てください！（詳細P4）

ペットを飼う前に 考えてほしい 10 のコト



ペットを飼うということは、ひとつの命を預かるということ。「かわいい」という気持ちだけでペットを飼うことはできません。本当にペットの一生を負う覚悟があるのか、考えてみてください。

- 1 ペットが飼える住宅に住んでいる？**
ペットと暮らすなら、ペットを飼える住宅が絶対条件。周辺の住宅への配慮も必要です。
- 2 家族全員が了承している？**
飼育には家族の協力と理解が不可欠。家族全員がペットの飼い主として接しましょう。
- 3 動物アレルギーはない？**
家族に動物アレルギーがないか事前に検査を。発症した時の対策も話し合っておきましょう。
- 4 最期まで飼育する覚悟はある？**
犬・猫は 10 年以上生きる動物。ペットが寿命を全うするまで、適切に飼う覚悟が必要です。
- 5 世話をする体力・時間はある？**
餌やりやトイレ掃除、生活環境の維持など、世話をこなせる体力と時間が必要です。
- 6 高齢になったペットを介護できる？**
ペットも年齢を重ねると病気になるケースも。高齢のペットの介護をする心構えが必要です。
- 7 経済的な負担は大丈夫？**
餌代や生活用品、医療費など、ペットを迎えればいろいろな費用がかかります。
- 8 しつけと周囲への配慮ができる？**
ペットが人に迷惑をかけないようにしつけを！飼い主も周囲への配慮など、マナーを心得て。
- 9 引っ越しても継続飼育する覚悟は？**
仕事の都合などで転居する必要が生じても、ペットを飼い続けることが飼い主の責任です。
- 10 飼えなくなった時の受け皿はある？**
病気や事故などで急に飼えなくなる可能性も。万が一に備えて、譲渡先を探しておきましょう。

ペットのための終活

飼い主にもしものことがあった時、ペットが路頭に迷うことがないように、「ペットのための終活」をしておきましょう。

● ペットの引き取り先を考えておく

新しい飼い主探しは今の飼い主の責任。家族や友人など、譲渡先を探してお願ひしておきましょう。

● エンディングノートの用意

譲渡時のため、ペットの情報をまとめておきましょう。(例) 名前、生年月日、好物、かかりつけ病院

● ペット保険への加入・加入プランの見直し

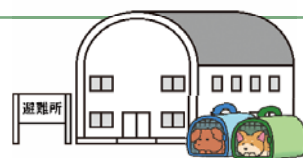
シニア期のペットは高額な治療費がかかることも。いざという時のためペット保険を検討しましょう。

● 葬儀や供養の希望を考えておく

ペットの最期を看取るのは新しい飼い主。要望を残しておけば、叶えてもらいやすくなります。

【コラム】 違いが分かる？ 同行避難と同伴避難

市の避難所では「同行避難」が基本。災害時に慌てないように、ペットの防災用品を揃えておきましょう！



同行避難

同じ避難所だが、飼い主とペットが過ごす場所は別



同伴避難

飼い主とペットが同じ場所で過ごす

猫を飼う時は 「保護猫」も選択肢に

「猫を飼いたい」と思ったら、「保護猫を引き取る」こともぜひ選択肢に入れてください。それぞれの猫の性格や特性をよく知るスタッフに飼い方を相談できたり、猫が新しい環境に適應できるか、先住猫との相性に問題がないかなどを試せるトライアル期間があったりと、メリットもたくさん！ 今もたくさんの猫たちが、あなたの家族になれるのを待っています。

にゃにゃ倶楽部「保護猫の里親会」

日時 ①毎月第2火曜 11:00 ~ 15:00
②毎月第4日曜 12:00 ~ 15:00
会場 ①古民家 (伊賀市上神戸 4615-210)
②東町集議所
◎日程・場所が変更になる場合があります。

すすねこの会 「すすねこと仲間たちの小さな譲渡会」

日時 毎月第2日曜 12:30 ~ 15:00
会場 すずらん台東1番町集会所
◎日程・場所が変更になる場合があります。

ニャぱり! ぱ にゃんこフェスタ

11月1日土 10:00 ~ 15:00

場所 市役所 市民広場

猫好きさんもそうじゃない人も
み〜んニャ 集まれ!

「にゃにゃ倶楽部」が主催する大規模な保護猫イベント! 保護猫のミニ里親会や啓発パネル展のほか、キッチンカーやワークショップ、ダンスやしゃぼん玉おじさんのパフォーマンスなど、楽しい催しが盛りだくさん! お楽しみに!

市役所ロビー展示

9月19日金 ~ 29日月

ペットの「終生飼養」、飼い主のいない猫の問題、ペットの防災・・・動物愛護週間(9/20 ~ 26)に、市役所1階ロビーで行う展示に足を運んで、ペットや動物について考えてみませんか?